

WINDOW



高知の観光名所である坂本龍馬像前で記念撮影
(国際観光ボランティアガイド養成講座)



アメリカの遊びを楽しむ子供たち(ジュニア国際大学)



韓国講座での一コマ(異文化理解講座)

2012
Autumn
No.57

- 国際観光ボランティアガイド養成講座開催
- ジュニア国際大学開催
- 韓国留学体験記
白石 梓(フェリス女学院大学3年生)
- 新しい国際交流団体の紹介
土佐ジョン万会
- 新しい高知県国際交流員・海外技術研修員及び協力交流研修員の紹介
- 田内千鶴子生誕100周年記念事業の紹介
- INFORMATION BOARD

在住外国人のための生活情報冊子「Tosa Wave」リニューアル・中国語版開始
異文化理解講座開催のご案内
国際ふれあい広場2012開催のご案内

今年も国際観光ボランティアガイド 養成講座を開催しました

今年度は、5月12日(土)、19日(土)、26日(土)の3回、「国際観光ボランティアガイド養成講座」を開催しました。

当養成講座は平成21年度に始まり、本県を訪れる外国人観光客に県内の観光名所などを外国語で案内し、外国人観光客が有意義な旅行を楽しむお手伝いができる語学ボランティア(中国語・韓国語)を養成し、本県の国際観光の振興と県民主体の国際交流の推進に寄与することを目的としています。

今年度の受講者は9名と少なかったものの、2名のネイティブスピーカーや通訳案内士の国家資格を取得している方もおり、受講者のレベルは非常に高いものでした。

今回の講座では「高知城」、「桂浜」の2つの観光地でのガイドを学びました。当協会が作成しているパンフレット「高知城を探検だ!」「ぐるっと桂浜」を参考に、まずガイド時の要点を把握し、外国語での読み方の練習、「高知城」、「桂浜」の詳細な歴史の勉強といった机上学習の後、高知県国際交流員や留学生を相手に外国語を使用したの実地ガイド練習を行いました。

また、講師に高知SGG善意通訳クラブの方々を招き、ボランティアガイドの心得や、高知県民でも知らなかった観光地の見どころのほか、講師個人の経験によるアドバイスなど講座内容は豊富で、言語以外でも学ぶところが多くありました。特に高知の歴史について説明する必要がある「高知城」のガイドでは、江戸時代は中国、韓国ではどの時代にあたるのか、「桂浜」では坂本龍馬とはどういう人物

なのかを分かりやすく説明するポイントなど、簡単なようで、外国語で説明するのは困難な点をまず自分で理解するところから始めました。

その後、受講者は実地でのガイド練習を通し、実際どのように表現すれば観光客に伝わりやすいか?観光客の興味を引くにはどうすればよいか?など、自分なりに改善点を見つけ工夫していました。特に、海のない内陸地から来られた中国人観光客には「桂浜」は魅力的な場所であり、観光には欠かせない場所であるということも「桂浜」での留学生の反応を通して分かりました。

今回の養成講座では中国語5名、韓国語4名の全員が当協会の国際観光ボランティアガイドに登録をしていただきました。受講者はみな積極的に外国人観光客に高知県の見どころをアピールしようという前向きな姿勢が見られました。今後も彼らが知識と経験を積んで、立派なボランティアガイドになることを期待しています。



机上学習の様子



桂浜でのガイドの練習



山内一豊像前で一豊について説明する受講生

2012 ジュニア 国際大学

6月23日(土)、いの町天王にある県立青少年の家大集会室に4年生から6年生の合わせて21名の小学生が集い、1日かけて海外の現状や外国の遊び、外国人としての生活について学習しました。

午前中は吉岡順子先生(「国際理解の風を創る会」所属)による海外の現状を学ぶ授業です。まず、県内各地から集まった小学生がお互いを知るため言葉を使わずに生年月日順に並び1つの輪を作る共同作業に続き、「世界の国からこんにちは」の歌を先生の伴奏に合わせてみんなで合唱しました。

その後、吉岡先生が以前研修

で訪問したことのある国「ネパール」を題材に、○×クイズや写真を使いながら同国の現状について学習しました。写真の中には参加小学生と同じくらいのネパールの子供たちが水を汲み運んでいる姿や、牛舎と見間違えほどの簡素な校舎で子供たちが勉強している姿が写っているものもあり、自分たちとは全く異なるネパールの子供たちの暮らしぶりに参加小学生は心を打たれた様子でした。

昼食休憩後の最初の授業は現地の遊びをその国の言葉を使って体験する遊びの授業です。この授業には県の国際交流員3名(アメリカ、中国、韓国出身)のほか、コンゴ民主共和国とモンゴル出身の高知大学留学生に遊び方を教えていただき、グループでこれら5か国で実際に行われている子供の遊びを先生も一緒に楽しく遊びました。

この授業は単に外国の遊びと遊びで用いる簡単な外国語を学ぶだけでなく、遊びをとおした文化の同質性や異質性を体感することも学習のねらいとしています。実際に、外国の遊びと言っても日本のものと似ているものがあり、こうした類似点への気づきが将来の真の国際理解に繋がっていくことでしょう。

最後はJICA国際協力推進員・山内桂さんによる授業です。この授業は日本に暮らす外国人の状況を疑似体験する授業でした。

会場内に隠されたヒント(何かの色を意味する外国語と日本語)を見つけその色を解答用紙の指示された枠に塗っていくと何かの模様が浮かび、その模様をチームで当てるぬり絵遊びですが、外国語の中にはどこの国の言葉か見当のつかない文字(アラビア語?)も含まれていたため、子供たちは前半悪戦苦闘の様子でしたが、今日の授業を午前中から見学していた国際理解教育に関心のある高知大学の学生7人にも手伝ってもらって、授業時間内に何とかぬり絵を完成することができました。

この授業は制限された情報(与えられた情報のほとんどは外国文字)の中から正しい情報の収集を積み重ねることにより正解を得る作業ですが、参加小学生は一見どこの国の言語かも分からない外国文字を頼りにゴールを目指さなければなりません。これが日本語で書かれていればどれだけ簡単に目標に到達できたことでしょうか。そうした意味で、日本語が不得手な在日外国人の疑似体験になったと思います。

来年もこうした授業を継続する予定です。外国に興味のある小学生にはぜひ参加して欲しいです。



韓国留学体験記

白石 梓(フェリス女学院大学3年生)

私は大学2年次の夏休み、「GENKI青年会」から海外留学助成金をいただき、韓国ソウルにある梨花女子大学に語学留学に行きました。高校生の時にK-POPに夢中になったことがきっかけで韓国に興味を持つようになり、韓国への留学は大学入学以前からの目標でした。大学に入学してからは、1年次後期から始まる韓国語の授業で1番上のクラスに入れるように、教科書をすべて暗記しました。そのおかげで念願の1番上のクラスに入ることができ、高校生の時からの目標であった韓国への留学も果たすことができました。



チマチョゴリを着ての記念写真

梨花女子大学での授業は全て韓国語で行われます。最初は韓国語で韓国語を学ぶということに不安でいっぱい、先生の言葉を聞きとるだけで精いっぱいでした。しかし、日が経つにつれ慣れてくると、すんなり耳に入ってくるようになり授業が楽しくなりました。また、私たち日本人留学生と韓国人学生との日韓合同授業では、「日本と韓国の女子大生の違い」というテーマで研究発表を行いました。韓国の学生たちの日本語がとても流暢なことと、学問に対する意識の高さにとても驚かされましたが、私にとって良い刺激でもありました。

休日には歴史博物館や世界遺産の景福宮に行ったり、民族衣装であるチマチョゴリを着たり、直接韓国の歴史や文化に触れることができました。また、ガイドブックには載っていない日本語が通じないようなお店に行って、積極的に自分から会話をするよ

うに心がけました。韓国での生活を通して、実践的な語学力を身につけることができ、コミュニケーション能力は格段に上がったと自負しています。



私が生活している横浜は、中華街や山下公園、元町、山手など今も昔も異国情緒に溢れており、羽田空港の国際線化に伴い、国内だけではなく海外からの観光客誘致など、観光政策にとっても力をいれている街です。現在ゼミ活動で、自分たちでテーマやコースプランを考え横浜の観光パンフレットの制作をしたり、夏休みには、外国からの大型客船の来航の際に、観光案内など通訳ボランティアを行います。今後の目標は、観光系の仕事に就くことです。そして、高知の観光政策や国際交流に携わっていきたいと思っています。

最後に、韓国での生活は毎日驚きの絶えない日々となりました。自分の足りなかった部分に気づけたりと、たくさん得るものがありました。留学で身につけた語学力、コミュニケーション能力、チャレンジ精神をフル活用してこれからも日々精進していきたいと思っています。



景福宮での王宮守門將交代式

高知県内のJETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)参加者を中心としたボランティア団体「GENKI青年会」は、毎年「土佐弁ミュージカル」を上演するとともに募金活動を行い、海外留学を希望する中高大学生の助成金として提供しています。

新しい国際交流団体の紹介

土佐ジョン万会

事務局長 三宮 洋一

土佐ジョン万会の発足について

高知ジョン万会と土佐ジョン万次郎会が合併して、平成24年6月1日、内田泰史を会長とし「土佐ジョン万会」として出発しました。

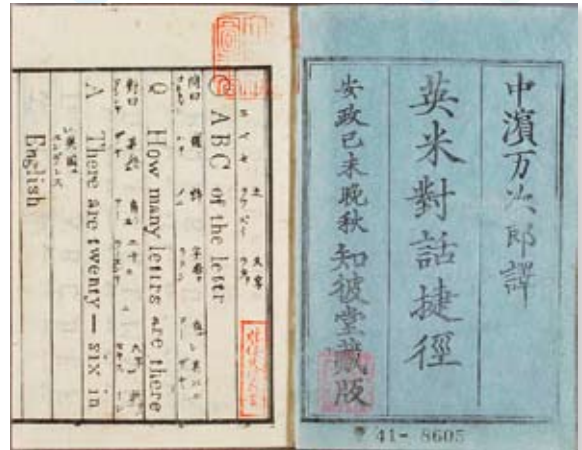
高知ジョン万会は、平成8年に設立され、その後休眠状態となっていました。 「日米草の根交流サミット高知大会」の開催を機に、ホームステイなどの県内受け入れ組織のひとつとして平成23年に再発足しました。

土佐ジョン万次郎会は、平成22年に設立し「日米草の根交流サミット高知大会」の活動に参加してきました。

両会の活動内容には多少の違いはあるものの、ジョン万の精神を顕彰するという目的が同じなら一緒に活動してはどうか、と各方面から助言をいただき、事務局レベルの調整から始まり、役員会の話合いを通して、一年後に合併成立にいたりしました。

活動について

ジョン万こと中濱万次郎は、1841年漂流した鳥島で、アメリカの捕鯨船に助けられました。ジョン万のひ孫にあたる中濱博氏によると、「当時漂流した日本人はたいへん多く、132人(1681~1897)が舟で鳥島に漂着し生還した」との記録があります。鎖国の時代にありながら日本人で初めてホームステイをし、高等教育・航海術・測量技術などを学んだ最初の留学生です。捕鯨船などで世界を7周する一方、10年後に帰国してからは江戸幕府の要人として、日本の開国に貢献しました。土佐から出発したジョン万の精神を伝え、学びあい、さらに啓発を進めるため



安政6年にジョン万が書いた
日本で最初の英会話書「英米対話捷徑」

に、次のようなさまざまな活動を行っています。

1. 「ジョン万会サミット」
2. 「沖縄上陸地点に碑を建立」
3. 「月例会・学習会の開催」
4. 「ホームページ」公開・「ニューズレター」発行

会員募集について

発足間もない本会の発展と国際交流推進の活動のために、広く会員を募り、学校や地域の活動に参加します。そして、ジョン万に関する講演会等に講師の派遣や資料の提供が出来るよう力をつけていきます。本会の目的や活動に賛同いただける方の入会を歓迎します。

土佐ジョン万会(会長 内田泰史)

住所: 〒780-0952 高知県高知市塚ノ原37
TEL:088-843-6007 FAX:088-854-3151
Website: <http://johnmung.org>
E-mail: tosa@johnmung.org

▼ジョン万が上陸した沖縄県糸満市米須にある大度海岸。左の岬の手前にあるリーフの切れ目に船を乗り入れた



新しい高知県国際交流員の紹介



你好(ニーハオ)。こんにちは。今年の4月中旬に高知に来ました劉森と申します。中国では、中学校の歴史教科書に日本の明治維新についての記載があります。私は、それがきっかけで、明治維新の英雄、坂本龍馬と深く長い歴史のある高知を知りました。高知のことをもっと知りたいという気持ちで高知に来ました。

私は、JETプログラム(語学指導等を行う外国青年招致事業)により、国際交流員として県庁の文化・国際課に勤めています。文化・国際課の皆さんと一緒に仕事をして、公務員の仕事の様子や、問題解決方法を見ることができ、日本のことをより理解できていると思います。それはJETプログラムの素晴らしいところだと思います。仕事は主に中国からの訪問団や高知からの訪中団の対応、通訳翻訳、小中学校での中国文化講座などです。また、定期的に高知県国際交流協会の異文化理解講座に講師として参加しています。異文化理解講座は、毎年6月と11月に行われていますので、中国文化に興味がある方は、ぜひご参加ください。

高知に来ていろいろな楽しいことがありました。最も印象が深いのは、やはりよさこい祭です。8月9日から12日まで開催された高知で一番盛大な祭り、よさこい祭を初めて見ました。よさこいの楽しさ、美しさに本当に感動、感心しました。

これからもいろいろなことを体験し、たくさんの友達を作りたいと思います。そして、日中友好の掛け橋として頑張っていきたいと思います。



五台山にて

海外技術研修員及び協力交流研修員の紹介

当協会では、高知県からの委託を受け、海外からの研修員受入業務を行っています。平成24年度は友好姉妹都市であるフィリピン・ベンゲット州から協力交流研修員1名、南米から海外技術研修員3名を受け入れており、研修員の属する国の発展に必要な技術や知識を習得させるとともに、友好親善を深めることを目的としています。

協力交流研修員は11月、海外技術研修員は来年3月まで県内の各研修先で研修に励んでいます。研修が充実したものとなるよう願っています。



協力交流研修員のジョアン・マリー・ブルーノ・トレスさん(フィリピン、高知県農業技術センターで研修中)

"Pettang shili, jet marama kulta ni savong jen curcuma. Angken adigat e ubda, haja savong e mangipamapteng ni akew tan on masdo kita ni ubda. Anus ja shili."

「毎日、花きを収穫しています。花があると1日が明るくなり、やる気が出ます。大好きな花に囲まれ、研修をがんばっています。」

海外技術研修員の3名。左から浜口 カリーナさん(ブラジル、田中整形外科病院で研修中)、野中 山崎 エステファニ 百合さん(パラグアイ、高知学園短期大学及び近森病院で研修中)、佐藤 ダイアニ歩さん(ブラジル、土佐電子で研修中)

"Estoy tratando de aprender y poder acostumbrar en el estudio y al volver en Paraguay quiero dedicar el trabajo de nutricionista y poder ayudar a mejorar la salud de la comunidad paraguaya."

「一つでも多くのことを学んで、パラグアイにかえって栄養士として地元の日系人やパラグアイ人のみなさんの力になれたら嬉しいです。」

野中 山崎 エステファニ 百合



"No Japão estou estudando a fisioterapia no Hospital de Ortopedia Tanaka. Estou adorando e espero aprender bastante!"

「日本に来て、理学療法の研修を田中整形外科病院でしています。本当にうれしいです。たくさん覚えて帰ります!」

浜口 カリーナ

"Eu vim para o Japão, e estou muito feliz aqui! No momento, estou estudando Comércio Internacional!"

「日本に来てうれしいです。貿易の勉強をしています。」

佐藤 ダイアニ歩

田内千鶴子 生誕100周年記念事業

高知市出身の田内千鶴子(韓国名:尹鶴子^{ユンハクチャ})さんは、戦前・戦中・戦後の混乱と複雑な状況の中、韓国木浦市で3千人の孤児を守り育て、「韓国孤児の母」と今でも多くの方から敬愛されています。

今年は、田内千鶴子さんが生まれてから100周年を迎えることから、田内千鶴子生誕100周年記念事業実行委員会(会長:西山昌男 高知商工会議所会頭、名誉会長:尾崎正直知事)により様々な記念行事が計画されています。今回は、その中から韓国への記念訪問団の派遣、ノンフィクション作家 山崎朋子さんによる記念講演会、在日韓国人音楽家による記念コンサートをご紹介します。

韓国記念訪問

- ◆ 日程 平成24年10月29日(月)～11月1日(木)
高知～岡山～ソウル 往復
- ◆ 内容 日韓愛と平和の祭典(10月30日)、
国連「World Orphans Day」制定推進大会
(10月31日)等
- ◆ 参加費 105,000円
(2名1室、エコノミークラス利用、燃料サーチャージ
込、空港税等別)
- ◆ 申込先 高知新聞観光
TEL:088-825-4334
JTB中国四国 高知支店
TEL:088-823-2331

記念講演会

- ◆ 日時 平成24年11月9日(金)
15:30～17:00(受付:15:00～)
- ◆ 場所 高知県立県民文化ホール(グリーンホール)
- ◆ 講師 山崎 朋子
- ◆ 演題 田内千鶴子の生涯の意味するもの
- ◆ 入場料 無料(申し込み整理券が必要)
- ◆ 申込先 高知市役所総務課国際平和係
TEL:088-823-9955
FAX:088-824-6930

記念コンサート

2012. 11/9 (金) 開場:午後6時 / 開演:午後6時30分

高知県立県民文化ホール・オレンジホール / ¥1,300 (前売¥1,000) 全席自由

主催: 田内千鶴子生誕100周年記念事業実行委員会 / 共催: 駐広島大韓民国総領事館

チケット販売: 田内千鶴子生誕100周年記念事業実行委員会 / 高知県立県民文化ホール / 高新 PG

第1部 丁讃宇(ジョン・チャヌ) / ピアノ 武田香奈子

1950年日本で生まれる。1969年パリ国立音楽院入学、ミシェル・オーケレル女史に師事。同音楽院を首席で卒業、その後、東京交響楽団、韓国国立交響楽団、韓国 KBS 交響楽団などのオーケストラの首席コンサートマスターを歴任。1988年より韓国延世大学教授、現在に至る。2000年6月8日、韓半島ではじめて実現された歴史的な南北首脳会談を記念し、ユニティコンサート(南北統一コンサート)を開催し、日本および韓国のテレビ局、新聞社、雑誌社に取り上げられ日本全国から大きな反響を呼んだ。



第2部 田月仙(チョン・ウォルソン) 声楽 / ピアノ 朝岡真木子

東京生まれ。日本・韓国の首脳の前で独唱した唯一の歌手であり、在日コリアンではただ一人、韓国オペラハウス、芸術の殿堂と世宗文化会館の両舞台で主演を務めた。1994年600年記念オペラカルメン(カルメン役)、2001年春香伝(春香役)他。2002年小塚純一郎総理主催・金大中引継ぎ大統領歓迎公演で独唱。W杯日韓共催記念オペラ「春香伝」日韓両国にて主演。2003年ヨーロッパツアー、2004年ルーマニア国立オペラ団「カルメン」主演。その活躍はNHKにて「奇跡を超えた歌姫」として放映された全国に感動を呼んだ。2006年、自らの半生を描いた著書「海峽のARIA」で小学館ノンフィクション大賞を受賞。二期会会員。



当日プログラム

- 第1部 丁讃宇(ジョン・チャヌ) / ピアノ 武田香奈子 —— 待ちわびる心 / カゴバ / 君は愛されるために生まれた / チャルダッシュ 他
- 第2部 田月仙(チョン・ウォルソン) 声楽 / ピアノ 朝岡真木子 —— アリラン / 懐かしい金剛山 / 川を越え春が来るように / 高麗山河が愛(山河を越えて) / 浜千鳥 / ふたりの海 / ふるさと～故郷の春 / オペラ銀々夫人より「ある晴れた日に」 / アヴェマリア 他

後援: 高知県、高知市、高知県教育委員会、高知市教育委員会、高知新聞社、朝日新聞高知総局、毎日新聞高知支局、読売新聞高知支局、産経新聞社高知支局、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ

INFORMATION BOARD

在住外国人のための生活情報冊子「TosaWave」に中国語が加まりました!

2005年に発行を開始した「TosaWave」は、これまで英語とルビ付きの日本語で、高知県内に関する情報を県内在住の外国人のためにお届けしてきましたが、県内で最も多い中国籍の方にも情報提供しようと今年の7月発行分から中国語も加えて発行するようにしました。10月に発行する最新号ではプロ野球の独立リーグ「高知ファイティングドッグス」について特集しています。中国出身の方にもぜひこの機会に高知が誇る野球文化について知っていただきたいです。

「TosaWave」はブログ(<http://tosawave.blogspot.jp/>)でもご覧になれます(冊子版をPDF形式で掲載)。

世界をもっと知ろう! ~異文化理解講座開催のご案内~

当協会では、年2回(6月と11月頃)中国、アメリカ、韓国からの県国際交流員や主に高知大学留学生を講師として招き、県民のみならず外国の生活様式や習慣などを紹介する「異文化理解講座」を開催しています。お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください!(申込方法等はHPでご確認ください。)

6月のモンゴル講座の様子



高知大学留学生テルメンさんの馬頭琴演奏に聞き入る受講者

平成24年度 秋講座スケジュール

11月13日(火) 18:30~20:00	百味チャイナ〜舌で味わう中国〜	高知市市民活動サポートセンター 大会議室
11月20日(火) 18:30~20:00	台湾・ア・ラ・カルト	高知市市民活動サポートセンター 大会議室
11月27日(火) 18:30~20:00	ポップカルチャーから学ぶアメリカの方言	高知市市民活動サポートセンター 大会議室
12月 4日(火) 18:30~20:00	チマ・チョゴリのお話あれこれ	高知県立県民文化ホール1階・第9多目的室(予備室)

今年も「国際ふれあい広場2012」を開催します!

今年も国際協力・交流に関する総合イベント「国際ふれあい広場2012」をJICA四国と共催で下記のとおり開催します。今年は大學生のグループ2団体が新しく加わり、よりフレッシュな体制で実施しますので、お誘い合わせの上ぜひご来場ください。

- 主催:公益財団法人高知県国際交流協会・JICA四国(独立行政法人国際協力機構四国支部)
- 日時:10月14日(日) 10:00~17:00
(※飲食は売切れ次第終了)
- 会場:ひろめ市場よさこい広場、大橋通商店街

主な内容:

- ベトナム・モンゴル・中国・韓国料理の販売
- グアテマラ・ラオスの民芸品展示販売会
- JICAボランティア相談会
- 県出身の海外ボランティアの紹介
- 国際協力・国際交流パネル写真展
- その他、アジア音楽・ハワイの踊り、等

★主催団体以外の出展団体紹介(順不同)★

- ①在日本大韓国民団高知県地方本部、②高知県青年海外協力隊OB会、③コデアルテコを応援する会、④特定非営利活動法人Brain、⑤高知SGG善意通訳クラブ、⑥高知大学国際茶屋、⑦高知大学国際協力団体SKIP、⑧高知県フラダンス協会、⑨奥村多喜衛協会、⑩田内千鶴子生誕100周年記念事業実行委員会

※各団体の催物内容は当協会HPで確認できます。



昨年の様子▶
(コンゴ民主共和国の音楽披露)

